

提案者からのメッセージ

加須市立加須東中学校
平井 薫 先生



生徒のよさに注目してあたたかな東風が吹く学校に！

「東中まごころプラン」は、生徒同士、また、教員が生徒のよい面に目を向けて、生徒の自己存在感や自己肯定感を育む取組です。

「まごころの花束」、「まごころコール」、「まごころ通信」の3つの取組は、それぞれ、「生徒同士の良好な人間関係」、「保護者と教員の連携」、「全校生徒への啓発」、「保護者への広報」の役割を担います。

プランの中心は毎月1回実施する「まごころの花束」です。生徒がお互いの思いやりある行動・言動に目を向け認めていくことを通して、生徒の自己存在感や自己肯定感を育みます。

「まごころコール」は4月新学期の担任挨拶が連携の鍵です。

「まごころ通信」では、各学年の「まごころの花束」を学期に1回紹介します。

○ 実践によって学校がこう変わった

「東中まごころプラン」は今年度で3年目になりました。1年目に入学してきた生徒たちは、「いいことをする人が増えた」「みんなが周りを少し気遣うようになった」「まごころのある行動が増えていると思う」と、自分たちの変化をアンケートで述べています。

教員もこれまで以上に生徒のよい面に目を向けるようになりました。「まごころコール」を通して、「学級懇談に参加する保護者が少ないため年度当初に顔を合わせられなくても関係をもつことができた」「保護者への連絡がしやすくなった」と感じています。

また、保護者からの気軽な声掛けが多くなり、プラス面で電話するので保護者から「ありがとうございます」という声をたくさん聞くことができました。